

公益財団法人 立石科学技術振興財団 2026 年度 研究助成(S)

研究課題名・代表者情報

研究課題名	
技術分野	
応用分野	
氏名(漢字等)	
氏名(フリガナ)	
生年月日	
国籍	
性別	
所属機関名 1	助成サポートシステムで 入力する項目
所属機関名 2(部局名)	
職名	
学位取得	
研究者番号	
職務・業績を示す URL	
researchmap URL	
専門分野	
連絡先住所	
電話番号	
メールアドレス	

助成情報

助成期間	
助成額	

アンケート

この助成をどこで知りましたか	
その他の場合の具体的な情報入手先	

研究課題名 代表者所属・職名・氏名

解決する課題：

価値と効果：

特色と独創性：

- 1 ページの枠内に、図や表を利用して申請の全体像をアピールください。
- 「解決する課題」「価値と効果」「特色と独創性」を各1～2行で記述ください。
- カラーで作成してください。選考はカラーの資料で行います。
- 研究課題名は、助成サポートシステムの入力に合わせてください。
- フォントとフォントサイズは変更して構いません。
- 水平線、右上の財団マークおよびフッターの財団名は変えないでください。
- 提出はPDFに変換して助成サポートシステムにアップロードしてください。

申請書(研究課題)

代表者氏名: _____

1. 研究目的と意義

(1) 研究目的と「人間と機械の融和」の姿(300 字以内) 申請する研究課題に取り組む目的と、それが実現した時の「人間と機械の融和」の具体的な姿を提示してください。
(2) 社会と人間に提供する価値 研究目的の実現が社会に提供する価値について記述してください。さらに、機械との融和により人間の生活、思考、行動がどのように変化し、どのような新たな幸福(人間らしさと能力の増進)をもたらすのかについても記述ください。
(3) 目標とその達成レベル 研究助成期間内で達成しようとしている具体的な目標と達成レベルを記述ください。研究開発としては、実現する機能、性能、大きさ、品質などの具体的数値と世界での位置付け(世界初、トップクラスなど)。社会実装としては、実証実験や臨床実験での条件・規模など、実用化・商用化ではユーザの範囲、価格、推進(運営または事業)体制など
(4) 研究の特色・独創的ポイント 1～3 項で書ききれない、特色や独創的な点があれば記述してください。

2. 研究計画

(1) スケジュールと方策

目標達成に向けてのスケジュールおよび1年毎の達成レベルをマイルストーンとして明示してください。それぞれの目標達成に向けたステップを、調査、設計、試作、実験、解析、その他の作業に詳細化してください。目標達成に向けて想定される主なリスクをピックアップし、それらのリスクを回避または解決する方策についても記述してください。ガントチャートやPERT図などのスケジュール図表で示していただいても構いません。

(2) プロジェクト体制

代表者とプロジェクトの共同研究者の役割について、前項で示した作業と対応させて記述してください。階層図(組織図または Work Breakdown Structure など)で示していただいても構いません。実験協力者等、本質的な業務以外の協力者は記載不要です。

(3) 代表者と共同研究者

代表者とプロジェクトの共同研究者(助成分担額の多い)5名までの氏名、所属、等について記述してください。

氏名(代表者)	
エフォート(*1)	助成金分担額(単位:円)

氏名	
年齢	国籍
所属機関	
職名	
研究者番号	
専門分野	
職務・業績 URL	
エフォート(*1)	助成金分担額(単位:円)

氏名	
年齢	国籍
所属機関	
職名	
研究者番号	
専門分野	
職務・業績 URL	
エフォート(*1)	助成金分担額(単位:円)

氏名	
年齢	国籍
所属機関	
職名	
研究者番号	
専門分野	
職務・業績 URL	
エフォート(*1)	助成金分担額(単位:円)

氏名	
年齢	国籍
所属機関	
職名	
研究者番号	
専門分野	
職務・業績 URL	
エフォート(*1)	助成金分担額(単位:円)

氏名	
年齢	国籍
所属機関	
職名	
研究者番号	
専門分野	
職務・業績 URL	
エフォート(*1)	助成金分担額(単位:円)

(*1)エフォートは各共同研究者の3年間での平均(各自の活動内での負荷配分)を%で記入ください。

(4) 人権保護および法令等の遵守への対応

本研究課題について、相手方の同意・協力を必要とする、個人情報の取り扱いの配慮を必要とする、生命倫理・安全対策に対する取り組みを必要とする、など法令等に基づく手続きが必要となる場合は、対策と措置について記述してください。

(5) 環境への取り組みまたは配慮

本研究課題について、環境(地球環境)改善の取り組みが含まれている場合や、環境への特別な配慮がある場合は、本欄に記述してください。

3. その他(セルの行は必要により拡大していただいて構いません。)

(1) 他の研究費との関連 代表者および共同研究者が過去に受けた、または現在受けている研究費と資金(科研費を含む公的機関の補助金、所属機関より特別に措置された研究費、法人の助成金、民間企業の研究費など)について、本研究との関連(活用する成果と相違)を記述ください。終了時期の新しいものから最大10件を記入してください。					
No.	研究費または資金 の名称(*1)	期間 (*2)	課題名	受領者名 (代表/分担の別)	金額 (千円) (*3)
本研究に活用する成果と本研究との相違(*4)					
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

(*1)名称は一般的なものならば略称でも可。

(*2)期間は、開始年度と終了年度を「2022～2025」のように記入。年度は西暦。

(*3)間接経費と分割できる場合は直接経費のみ、分割できない場合は合計を記入。

(*4)本研究開始時に終了しているものは「本研究に活用する成果」のみ、終了しないものは「本研究に活用する成果」と「本研究との相違」を記入。

(2) 研究業績

代表者および共同研究者が最近 5 年間に発表した、本研究課題に関連する重要な論文、著書、産業財産権、招待講演について、発表時期の新しいものから最大 10 件を記入してください。

No.	発表年 (西暦)	発表論文名、著書名、産業財産権名、招待講演名等(*1) (本プロジェクトの代表者および共同研究者に下線)
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		

(※1)例えば発表論文の場合、論文名、著者名(多数の場合は主な著者のみ)、掲載誌名、査読有無、巻、最初と最後のページ、発表年(西暦)を記入。

(3) 事業実績

代表者または共同研究者が、本研究に関連する事業において実績(売上)を有する場合は、商品名またはサービス名、対象市場、コアとする技術、期間、売上規模(累積と年間)などについて、簡単に記述してください。

研究助成 申請書(予算)

(申請者)

所属機関

職名

氏名

水色・灰色のセルは記入不要です

(単位：円)

費目		1.設備備品費	2.消耗品費	3.人件費・謝金	4.調査研究費	5.その他	6.間接経費 (管理費)	合 計
1 年 目	計画値							0
	使途・目的							
2 年 目	計画値							0
	使途・目的							
3 年 目	計画値							0
	使途・目的							
合 計		0	0	0	0	0	0	0